

# 日本語教育とふくし

2021年度 知多半島 日本語教育サミット 開催のご案内

日本福祉大学 日本語教育センター

2019年の3月に知多半島の地域の日本語教育に関わっていらっしゃる皆さんに集まっていただき、地域の日本語教育の現状と課題について話し合いました。それ以来、コロナウィルスの感染拡大の影響もあり、地域の日本語教室に関わっていらっしゃる皆さんにまた集まって話し合いをしていただく機会がなかなか作れないまま2年が経過しました。ようやく感染状況が落ち着きをみせてきましたので、再び交流と学びの機会を設けたく、「日本語教育とふくし」をテーマに日本語教育サミットを開催します。

技能実習生の「コロナ切り」がメディアで取り扱われたり、外国籍の子どもたちが経済的な理由等により教育の機会を奪われたり、留学生が無休で働かされて日本語学校に訴訟を起こしたりするような時代になり、日本語教育に携わる者としてどのように学習者と関わればよいのか様々な課題を感じずにはいられません。生活面、労働条件などにどこまで関わるべきなのか考えさせられます。学習者側に立ち、来日する外国人の人権や生活が守られ、豊かな生活を送るためには私たちがどのように貢献できるのか、日本語教育に携わるすべての人が考えねばならないことではないでしょうか。

外国人は日本語を学ぶことにより様々な意味で日本での生活が豊かになるはずですが。その観点から、日本福祉大学では「ふくし」を「普通（ふ）の暮らし（く）の幸せ（し）」と定義づけており、まさに今、「日本語教育のふくし」を考える時代になりました。

ぜひ多くの方々にご参加いただき、ともに「日本語学習者のふくし」を考えたいと思います。

日時: 2022年3月21日(祝)10:00~16:00 (9:30 開場)

場所: 日本福祉大学東海キャンパス S301~303 教室

名鉄「太田川」駅から西へ徒歩5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

※新型コロナウイルスの状況によっては、オンライン開催とする場合があります。

10:00 開会挨拶

10:05 基調講演 「在住外国人のふくしと地域の日本語教室」  
尾崎明人氏

名古屋外国語大学・名古屋大学名誉教授。文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員、日本語教育学会会長などを歴任。1994年に東海日本語ネットワーク（TNN）の創設に参画し、現在も協議員、会報委員を務めている。

11:00 グループディスカッション

11:30 グループディスカッションの共有

12:00 昼食 (日本福祉大学から提供)

12:40 「知多半島グローバルマップ 55」(ゼミ活動)の紹介

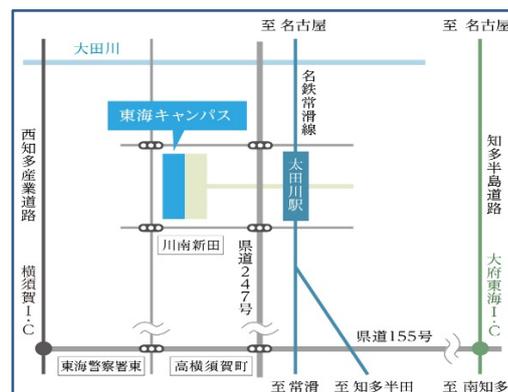
13:00 ポスターセッション: 日本語教室の活動発表

皆さんの教室の情報を事前に調査させていただき、学生がポスターを作ります。ポスターセッションでは、各教室担当者がポスターの前に立ち、教室での活動の説明をしていただきます(詳細は参加教室に後日連絡を差し上げます)

14:00 パネルディスカッション「学習者のふくしを考える」: 日本語教育の当事者の声を聞く

15:30 情報交換

16:00 閉会挨拶



## お申込み方法

2022年3月9日(水)までにWebもしくはFAXにてお申込みください。

ポスターセッションでの発表をご希望の方は、2022年1月31日(月)までにお申込みください。

### ①Web

次のフォームよりお申込みください。

<https://www.n-fukushi.ac.jp/cjle/entry/20220321/>



### ②FAX

次の用紙に必要事項をご記入の上、送信ください。

<b>&lt;FAX送信先&gt;</b>	
日本福祉大学 国際課	FAX 0562-39-3281

日本福祉大学 知多半島 地域日本語教育サミット

(2022年3月21日(祝)開催)

**参加申込書**

### 参加者のご芳名・ご連絡先等

○法人名・団体名・学校名など(個人での参加も歓迎です) \_\_\_\_\_

○ご連絡先(メールアドレスまたは電話番号等) \_\_\_\_\_

○教室活動のポスターセッションでの発表のご希望  希望する /  希望しない

(ポスターは情報を提供していただいた上、大学で作成します)

参加者ご芳名	所属・役職等

○本サミットについて、ご質問、ご意見、ご要望等がございましたら、通信欄にご記入ください。

<b>&lt;通信欄&gt;</b>     
--